

表6. 入学定員を充足していない短期大学数の推移

年	集計法人数	該当法人	該当法人率 (%)
1989(H1)年	477	32	6.7
1990(H2)年	483	18	3.7
1991(H3)年	486	13	2.7
1992(H4)年	492	11	2.2
1993(H5)年	494	15	3.0
1994(H6)年	493	18	3.7
1995(H7)年	491	58	11.8
1996(H8)年	491	86	17.5
1997(H9)年	493	139	28.2
1998(H10)年	486	181	37.2
1999(H11)年	469	238	50.7
2000(H12)年	460	267	58.0
2001(H13)年	449	245	54.6
2002(H14)年	435	209	48.0
2003(H15)年	416	190	45.7
2004(H16)年	400	164	41.0
2005(H17)年	383	159	41.5
2006(H18)年	373	194	52.0
2007(H19)年	365	227	62.2
2008(H20)年	360	243	67.5
2009(H21)年	356	245	68.8
2010(H22)年	344	215	62.5
2011(H23)年	338	225	66.6
2012(H24)年	330	230	69.7
2013(H25)年	324	198	61.1
2014(H26)年	320	207	64.7
2015(H27)年	315	192	61.0
2016(H28)年	311	208	66.9
2017(H29)年	304	204	67.1
2018(H30)年	301	212	70.4
2019(H31/R2)年	297	228	76.8
2020(R2)年	291	215	73.9
2021(R3)年	286	239	83.6
2022(R4)年	279	239	85.7

<出典>

日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 2022、  
『令和4(2022)年度私立大学・短期大学等入学志願動向』p.63  
該当法人=(合計)-(100%以上の学校数)

